

2012  
年度

名古屋大学大学院  
情報科学研究科公開セミナー

受講料  
無料

■ 先端技術公開セミナー 13:00-14:30

# スマートなIT技術の移り変わり

～スマートカードからスマートシティーまで～



講師

博士(工学) 古林 紀哉 氏

野村総合研究所 事業開発部(兼:イノベーション開発部) 上級研究員  
名古屋大学大学院情報科学研究科 客員教授

概要

私たちの生活の質の向上や技術市場の拡大を期待させる言葉として、「スマート」というキーワードがある。今では当たり前になった「スマートカード」という言葉は1990年代に登場した。最近では、「スマートフォン」が私たちの生活を向上させていたり、「スマートシティー」という言葉が次世代を予感させている。本講演では「スマート」なIT技術を幾つか取り上げ、登場時の期待と現状を紹介しながら、それらの共通点と将来のスマート技術を考える。

■ 基盤研究公開セミナー 15:00-17:30

# 感覚の情報科学

～視る・触るを探求する～

『快適でエキサイティングな3D立体映像』



講師

教授 宮尾 克 氏

概要

2009年は3D映画元年、2010年は3Dテレビ元年、などと言われました。自然環境では美しい景色をみると、心が癒され、目の疲れなど感じません。3Dで、美しい景色を見ると、目が疲れる、メガネが重たい、めまいを感じる等、ネガティブな感覚を感じる人がいます。こうした3Dの問題を解決し、本来の3D映像の魅力や楽しさ、驚きの体験を身近に感じられるようにするにはどうしたらいいのでしょうか。3D映像と人間とのかかわりの研究をわかりやすく説明し、快適でエキサイティングな3D映像を実現する道を探ります。

『人間と機械をつなぐ触覚』



講師

教授 大岡 昌博 氏

概要

触覚は対象との相互作用で成立する感覚です。触れると対象も変形するし、自分の皮膚も変形します。人は、この触覚を通じて対象に関する色々な情報を得ています。ロボットにも触覚があれば、こなせる仕事が広がります。また、人は書かないと覚えられないので、触覚は納得する上でも重要です。このため、マン・マシン・インタフェースにも「触る」要素が求められています。講演では、人の触覚に関する最近の成果を説明します。さらに、その成果をロボットやインタフェースに応用する研究についても紹介します。



開催予定日

2012.9.28 [金]  
13:00-17:30

開催場所

名古屋大学  
IB電子情報館中棟015講義室

名古屋大学大学院情報科学研究科主催

問合せ先

大学院情報科学研究科 広報渉外委員会  
担当 庶務掛 052-789-4716  
gsis@is.nagoya-u.ac.jp

研究科HP (<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)  
も御覧ください